演習科目の成果物テーマ分布・傾向

（2026 年 9 月末時点）

■事業計画演習（全 704 件）

A-1. テーマ分布

事業計画演習は、「IT/DX」「医療・ヘルスケア／福祉」「金融・投資・保険」が三大ボリュームゾーンで、次いで教育・人材、その他、地域、食・農、不動産などが続きます。

領域	件数	構成比
IT・DX：アプリ、Web プラットフォーム、データ活用など	158	22.4%
医療・ヘルスケア／福祉：治療、検診、介護、メンタルなど	93	13.2%
金融・投資・保険：ローン、投資、保険、信託、決済など	78	11.1%
教育・人材・キャリア：研修、教育コンテンツ、人材紹介など	69	9.8%
地域活性・社会課題：地域資源の活用、コミュニティ、社会課題解決型など	55	7.8%
農業・食・飲食：食品・飲食、農業、地産地消など	49	7.0%
不動産・住宅・建設	43	6.1%
観光・旅行・インバウンド	24	3.4%
エンタメ・文化・スポーツ	25	3.6%
環境・エネルギー	20	2.8%
その他（上記に明確に寄らないもの）	90	12.8%

A-2. 傾向

・「プラットフォーム化／マッチング」発想が頻出
・需要側と供給側をつなぐ（仲介、比較、マッチング、予約、シェア等）構造が多く、題材としても説明しやすい。
・“社会課題×事業化”が強い
・高齢化、健康、育児、地域、働き方など社会側の課題を、サービス設計へ落とし込むタイプが目立ちます。

■組織変革演習（全 68 件）

B-1. テーマ分布

組織変革演習は、「その他（個別組織課題・運用課題として多様）」が最多となり、「IT/DX」「教育・人材（人事・育成・制度）」が続きます。DX は、改革を進める手段として扱われる傾向があります。

領域	件数	構成比
IT・DX：アプリ、Web プラットフォーム、データ活用など	21	30.9%
医療・ヘルスケア／福祉：治療、検診、介護、メンタルなど	6	8.8%
金融・投資・保険：ローン、投資、保険、信託、決済など	6	8.8%
教育・人材・キャリア：研修、教育コンテンツ、人材紹介など	13	19.1%
不動産・住宅・建設	1	1.5%
環境・エネルギー	1	1.5%
その他（上記に明確に寄らないもの）	20	29.4%

B-2. 傾向

・テーマが“社内実装（運用・体制・人材）”に寄るため、業界よりも“課題タイプ”で多様化しやすい
・「働き方改革」「体制改革」「制度・運用改善」等の、組織課題そのものを扱うタイトルが見られる
・DX は“目的”というより“改革を進める手段”として登場しやすい
・起業型テーマよりも「業務改革」「運用改善」の文脈で現れやすいのが特徴

■修論ゼミ（全 81 件）

C-1. テーマ分布

修論ゼミは、「金融・投資・保険」が最大ボリュームで、次いで「その他」「医療・ヘルスケア／福祉」「地域活性・社会課題」が続きます。IT/DX や教育も一定数ありますが、事業計画演習ほど「サービス設計」よりも、制度・産業・経営課題の分析・提言寄りに見えます。

領域	件数	構成比
金融・投資・保険：ローン、投資、保険、信託、決済など	20	24.7%
医療・ヘルスケア／福祉：治療、検診、介護、メンタルなど	14	17.3%
地域活性・社会課題：地域資源の活用、コミュニティ、社会課題解決型など	11	13.6%
教育・人材・キャリア：研修、教育コンテンツ、人材紹介など	6	7.4%
IT・DX：アプリ、Web プラットフォーム、データ活用など	6	7.4%
農業・食・飲食：食品・飲食、農業、地産地消など	2	2.5%
不動産・住宅・建設	1	1.2%
観光・旅行・インバウンド	1	1.2%
エンタメ・文化・スポーツ	1	1.2%
環境・エネルギー	2	2.5%
その他（上記に明確に寄らないもの）	17	21.0%

C-2. 傾向

・コーポレートガバナンスや情報開示など、企業制度を分析するテーマ
・医療機関の経営改善など、公共性の高い組織の経営課題
・金融営業職に求められる資質など、業界構造と人材要件を結び付けた研究

前回からの変化

- **事業計画演習**：基本傾向は維持されつつ、医療・福祉、教育、地域、環境等への多様化が進んだ
- **組織変革演習**：変化が比較的大きく、DX 中心から、経営・組織・人事・収益構造を含む総合的な変革へ広がった
- **修論ゼミ**：全体傾向はほぼ維持されたが、ガバナンス、病院経営、金融人材という論点が追加された